

2023年1月13日
プレスリリース No.033-22

活動を通して山と街が“つながっていく”ことを目指して 学生が田植えから収穫まで行ったお米「棚田の恵」発売

静岡文化芸術大学の学生有志で構成される「引佐耕作隊」が、久留女木の棚田(浜松市北区引佐町)で育てたお米を本学生協などで1月16日(月)より販売します。販売終了は1月27日(金)を予定していますが、売り切れ次第販売終了となります。

■地域の方々と汗を流して収穫したお米

学生団体「引佐耕作隊」は、2016年4月から「久留女木の棚田」の耕作放棄地の解消を目的に活動を開始。地域の方々の指導や協力をいただきながら、春から秋にかけて毎週末通い、植え付けから収穫まで、一連の農作業を行っています。学生たちが地域住民と交流しながら棚田を耕し、収穫した「棚田の恵」の販売利益は、苗代や肥料代などの財源となり、「引佐耕作隊」の持続可能な活動につながります。

■美味しいだけじゃない、伝えたい「棚田の多面的機能」

この活動で伝えたいことは「棚田の多面的機能」です。耕作された棚田には、食糧生産の機能のほかに、水源涵養・生態系の多様化・美しい景観の創出・都市農村交流の機会提供といった機能があり、その恩恵は棚田周辺の地域住民だけでなく、都市住民(浜松市街など)も享受しています。都市住民の方も、「引佐耕作隊」のお米を購入すること、お米を食べることを通して、間接的に棚田保全を応援することができます。5種類のパッケージデザインはいずれも棚田がもつ多面的機能に対応して表現しています。



■販売概要

【商品名】「久留女木 棚田の恵」(精米、単一原料米) 【価格】500円(税込)

【内容量】300グラム(約2合) 【産年】2022年度産 【産地】静岡県(浜松市北区引佐町「久留女木の棚田」)

【販売期間】2023年1月16日(月)~1月27日(金)まで(売り切れ次第販売終了)

【販売場所】本学生協購買、「KISSA 山ノ舎」(浜松市天竜区二俣町)、

「星の駅 碧-Aoi-」(同天竜区水窪町)、

通信販売も実施。



<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学 企画室

Tel. 053-457-6113(平日 8:30~18:00) / Fax. 053-457-6123

Email. kikaku@suac.ac.jp

公式 Web サイト





引佐耕作隊
HAKKOSAKUJIKU

kurumeki,

2023

久留女木 棚田の恵

1.16 (月) ~ 27 (金)

静岡文化芸術大学 生協購買 などで販売

※売り切れ次第販売は終了します



食べて棚田を応援しよう



500
円
(税込)

300g (約2合)



「棚田の多面的機能」をご紹介します

水を蓄えることで
天然のダムとなる

美しい景観で人々に
癒しを与える



きれいな水と空気
お米が育つ



農村の人と都市の人の
交流場になる

多様な生き物の
住みかになる



こんにちは！わたしたちが引佐耕作隊です

久留女木の棚田は、浜松市北区引佐町の北部の山間部に位置します。「つなぐ棚田遺産」「静岡県景観賞」にも選ばれており、美しい景色が広がっています。しかし、その耕地の約6割は休耕田となっています。そこで静岡文化芸術大学の学生たちで2016年4月「引佐耕作隊」を結成し、地域の方々の協力のもと、お米作りに取り組んできました。人間が生きるために必要な糧を作り出してくれる棚田に感謝し、収穫されたお米を「久留女木 棚田の恵」と命名しました。是非、ご賞味ください。

Instagram
@inasakousakutai



Twitter
@inasakousakutai



Facebook
引佐耕作隊

